

第4回阿賀野市道の駅整備検討委員会 会議録

開催日時	平成30年1月25日(木曜日) 午前10時00分から～11時50分
開催場所	阿賀野市役所 1階 第1・第2多目的ホール
出席委員 (12名)	池田委員長、佐藤(秀)副委員長、五十嵐氏(稲毛委員代理)、大澤委員、五十嵐委員、小林委員、佐藤(政)委員、加藤委員、渡邊委員、百都委員、笹岡委員、佐藤(美)委員
欠席委員 (1名)	波多野委員
事務局	小林産業建設部長、 総務部 市長政策課 苅部課長、深澤主事、危機管理課 長川課長、 民生部 社会福祉課 星課長、生涯学習課 遠藤課長、 産業建設部 農林課 小林課長、商工観光課 鈴木課長、建設課 佐藤課長、松崎課長補佐、池田係長、小林主任、飯野主事
会議事項	<ul style="list-style-type: none"> (1) 開会 (2) あいさつ (3) 報告事項 <ul style="list-style-type: none"> 1. 対話型市場調査の報告 (4) 議題 <ul style="list-style-type: none"> 1. 「道の駅」整備計画について <ul style="list-style-type: none"> 1) 道の駅における子育て支援の方向性 2) 子育て支援等に資する公園施設 3) 子育て支援に関するその他機能 (5) 閉会

あいさつ

小林 当市の行政につきまして、日頃から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。
産業建 また、本日はご多忙なところ、お集まりいただきまして大変ありがとうございます
設部長 ます。

6月に公表しました「阿賀野市道の駅基本構想」をもとに、前回6月の検討委員会で皆様からいただいたご意見を参考とさせていただき、今年の春を目途に「阿賀野市道の駅整備計画」の策定を進めているところであります。

また、民間事業者の参画の可能性や「整備計画」の参考となる意見を幅広く求めることを目的に、市内外の民間事業者との対話調査による聞き取りも実施いたしました。

今回の検討委員会におきましては、整備計画の途中経過をご説明いたします。

委員の皆様からは「道の駅」における子育て支援を重点的に活発な意見をいただきたいと思っております。

整備計画を策定するまでにご苦勞をおかけすると思いますが今後とも皆様からの協力をお願い申し上げます。

報告事項

事務局 資料1に基づき説明

(質疑応答)

質疑なし

議題

1) 道の駅における子育て支援の方向性

(説明)

事務局 資料2 P1~6 基づき説明

委員長 有難うございました。

ただいまの説明につきましてご質問等はございますでしょうか。

(質疑応答)

質疑なし

2) 子育て支援等に資する公園施設

3) 子育て支援に関するその他機能

(説明)

事務局 資料2 P7~15 に基づき説明

委員長 有難うございました。

ただいまの説明につきましてご質問やご意見はございますでしょうか。

(質疑応答)

- 委員 ・子育て支援センター「にこにこ」はどこにあって、どのような活動をしているのか。
- ・道の駅でその機能の一部を持つことによって元々の「にこにこ」はどうなるのか。
- ・2箇所になることによってどのような効果が期待できるのか、道の駅にそのような機能を持たせることの意味を聞きたい。
- 事務局 ・「にこにこ」というのは、子育て支援センターで、対象は就園前の子供となる。正職員2名と臨時職員が常時いる。雨・雪の日に遊ぶ所がないというお母さん達の声に応え、あがの市民病院の人間ドッグを行っていた場所を改修し、H28年4月から開設された。土日にやっている子育て支援センターが当時なかったため、月火以外に開館している。子育て関連のイベントや、子育て支援のボランティア等を行っている。
- ・「にこにこ」と同じ様な子育て支援センターを造るということではなく、その機能の一部をもった形で、例えば職員常駐の形ではなく、子供達が集まりやすいような、親子世代や祖父母と一緒に来やすい場所を提供し、世代間交流が推進されることを狙っている。
- ・子育て支援センターが2箇所になる訳ではなく、子供が集まりやすい場所をつくる。建物の中では乳幼児を対象とし、建物の外では年代の高めの子供達を対象とし、全体として子育ての支援になる様な施設を考えている。
- ・基本的には子育て支援は「にこにこ」がメインであることは変わらない。道の駅にこのような機能を持たせることで、整備位置が阿賀野市の入り口ということであり、市外の方からも利用しやすいと考えている。
- ・大きな子供の遊べる場である公園と併設することで、今までの「にこにこ」と違う使い方ができる。
- 委員 ・対象者を広げるといふことなのか。
- 事務局 ・大きく言えばそういうイメージである。
- 委員長 ・道の駅に施設を造る訳ではなく、道の駅のサービスの一つとして「子育て支援」というメニューがあるという感じである。
- ・家族で来て楽しめるためにはどのようなプログラムが必要なのかを考える中で、「子育て」がメニューとして挙げられたものと思われる。そのため、子育て支援センターの機能の分担や施設が足りないということではない。
- 委員 ・市役所の多目的ホール程度のスペースに、自由に行きたいと思う親子がなんとなく集って遊び場ができるというイメージなのか。例えばベビーマッサージ等は阿賀野市の企業やNPO法人でやっているし、県も推奨している。
- ・子育て支援は良い事だと思うが、職員が常駐しないということは、いろんな企業やNPO法人に場所の貸し出しをするというイメージなのか。
- 事務局 ・ソフト的なことはこれから検討する部分であり、委員の皆様から意見を頂きたいと考えている。
- ・ハード的な部分は、ある程度のスペースを作って親子が集まりやすいような場所を提供しようと考えている。遊具などはソフト面も踏まえてこれから考

えていきたい。

- ・プレイルームは自由に親子で遊べる場として開放する。常時職員はいないので、土日などに市内の子育て支援センター等と連携して、イベントや体験教室を行うイメージで考えている。
- ・基本的に場所の提供ということである。普段は親子等で自由に遊べる場で、それ以外にイベント等の事業を行う場所として提供したいと考えているが、皆さんの意見も参考にさせて頂きたい。

委員長 ・子育て支援ということ突き詰めた福祉サービスというよりも、広い範囲で考えたいということだと思う。極端な話、子供を連れて行ける場所がどれだけあるのかが、街としてどれだけ支援しているかになるかと思うので、幅広い子育てということをテーマとした施設をどのように考えられるか、どのように使えばいいのかということをお客様方からご意見をいただければと思う。

(どのような公園施設・機能があれば良いかの意見)

委員 ・孫が遊びに来たときに連れて行く場所としては、よこごし公園や五十公野公園であり、状況をよく見ていると、祖父母が孫を連れて遊びに来たり、親子でテントを張って一日遊んだりバーベキューなどを行っていて、施設としては非常に良いと思う。

・阿賀野市内では、瓢湖水きん公園などは機能的には多少充実していると感じているが、わざわざ市外に行かなくてもそういうことができる場所が欲しいと思っている。

・親子や祖父母と一緒に訪れられる場があれば非常に活性化も出来ると思うし、他市町村からも人を呼び寄せることが可能だと思う。

・ハードの部分でこのような子育て支援のための場があれば望ましいと思っている。

委員 ・わざわざ車で来て貰う公園なので、もう少し特色のあるものがあればと思う。

・「子育て」というと健康ですくすくというイメージしか湧かないが、せっかく阿賀野川のふもとにあるのだから、もっと自然を活かした、自然と育む情操教育ということも視点に入れて、施設を造って頂けたらと思う。

・ジョギングや散歩をするにあたって、ただ単に道路があればそこを歩くということでは長続きしないのではないのか。

委員 ・孫がイベントや体験教室などに結構参加しているが、一番親子で楽しめる料理教室や体験、イベント、工作などを余計にやれば良いと思う。そのようにして親子のコミュニケーションを取ることができれば良いと思う。

委員 ・「子育て支援」は大切なことだと思うし、にこにこの賑わいから見ても、遊び場を含め、子育てに悩みを抱えている方が多いので、ただ遊具を置いて大きな遊び場を作ったから人が来るというのは、どこにでもある様な形になるのではないのか。

・体験型という形で子育て支援を進めるのであれば、しっかりと人を置いて、遊びの中から子供の育成に力を入れたいという親が増えて、阿賀野市に住みたいという方が増えれば非常に良いのではと思う。

- ・せっかく屋外のエリアを造るのだから、生き物とのふれあい等ができるような所も必要だと思う。
- 委員
- ・大空間を造ってフレキシブルに仕切ったり、情報発信や子育ての場にしたりと、多目的に使えるスペースとした方が良いのかと感じる。
 - ・未来を見据えてどのようなプランを作るにしても、読みきれない部分は絶対出てくるので、それに対して柔軟に対応できるハードを整備する方が、今後有効に活用できるのではないかなと思う。
 - ・公園のあり方も変わってきており、住宅街にキャンプができるような空間を作る事業もあるので、いろんな機能をもう少し削いで、道の駅としてシンプルに造ったほうが市民にとっても使いやすいのではないかな。
- 委員
- ・公園は多目的広場を重視した方が良いと思う。
 - ・阿賀野市をアピールするものとして、建物や遊具、樹木等を考えていかないと阿賀野市の魅力が見えてこないのではないかなと感じた。
 - ・育児真っ盛りの方の意見をどの程度反映しているかは分からないが、実際に子育てを行っている若い親の意見をもっと聞いた方が良いのではないかなと思う。
- 委員
- ・子育て施設をどのように使いたいかを示して頂かないと良く分からない。子育て支援センターや NPO と競合しないのか、また、今現在子育てをしている方々だけではなく阿賀野市全体のイメージアップになるということなどを見せて頂きたい。
 - ・イベントがあると良いと思っているが、安田の方に協力して頂きたいと思っているのが牛の乳搾りで、乳搾りができる道の駅はなかなかないと思う。
 - ・阿賀野市内のいろんな方や業者にもお願いをして、いろんな体験ができるイベントを考えていただきたいと思う。
- 委員
- ・遊びのエリアやプレイルームはスーパーなどどこにでもあるので、そこに力を入れなくても良いと思う。
 - ・公園で何を求めるのかというところで、自然や生き物とのふれあいの場が重要なのかなと思う。
 - ・阿賀野市特有の結桜などを植えて四季を感じられる公園であれば、市外から来た方にとってもインパクトはあると思うし、年齢問わずゆっくり散歩などができるので、自然に力をいれて、特徴のある公園にしてもらいたい。
 - ・子供と手をつないで歩くだけでもふれあいになるし、また行きたいと思えるのではないかな。
- 委員
- ・最近の道の駅は、物販の+αとして地域の方々に使っていただけるような機能を融合した形で整備されているのがトレンドになっている。その中で、子育て支援という機能を持たせることは、非常に有効であると思うし、広大な公園などもあり、それぞれの機能を組み合わせて相乗効果を表していくのではないかなと感じる。そのような中で地域の方々の使い方+αのニーズもあると思われる。
 - ・ドライバーも平日や土日に関わらず高齢者も利用しており、そういう方々との融合や、ペットを連れてドライブで来るという使い方もあると思う。それら

は施設の整備というよりも運用の中で検討されていくのではないかと思う。

- ・そのような人も想定した中でコンセプトや基本的な部分で整備を進めて頂けたらと思う。

委員 ・子育て支援ということに関してであれば、実際に子供を連れて行く保護者に意見を聞いてみれば良いと思う。

- ・参考資料を見ても「子供を安心して遊ばせられる公園」が一番であり、その次が「緑や花がきれいな公園」、そして「ゆっくり休むことができる公園」も上位にあるので、いろんな物を作り過ぎないという意見はもっともだと思う。ただ、遊具を否定する訳ではなく、ここに行くとこれがあるという目玉になる遊具であれば、外にアピールする力になると思う。

- ・今回、子育て支援ということで皆さん意見を言っているが、前回の検討委員会で特色を作るという意見が出たが、そこが曖昧なまま話を進めているので、全体を見るとバランスが決められなくなっているのではないか。全体のバランスを見ないと意見が言いにくいということもあるので、今後の予定で、他の機能について検討するスケジュールや、特色の話は事務局でどのように考えているのかなど、教えて頂きたい。

事務局 ・今回の検討委員会では、特徴を持たせるといった中で、子育て支援をピックアップして皆様から意見を頂いているところである。基本構想で示している4つの基本機能（休憩・情報発信・賑わい交流機能・防災）については、事務局で一通り案を作成し、次回検討委員会で示すということで考えている。その中で特に今回は子育てを取り上げて、皆様に意見を頂いている状況である。

委員 ・特徴として、子育て支援をアピールして行きたいという事務局の考えでよいか。

事務局 ・その通りである。

委員 ・公園施設という部分で言うと、春から秋を想像している部分もあるかもしれないが、雪が降ったらどうするのか。冬場も使えるような施設にすれば特色がある道の駅になるのでは、オールシーズンで使えるような視点で検討するのも手ではないか。

事務局 ・子育て支援に関する具体的な施設や機能など、本日皆様からいただいた意見を参考に、再度、検討させていただき、次回の検討委員会で整備計画の素案を、皆さまに、お示ししたいと考えております。

(終了)

■ 検討委員会の様子

